

(学年) 1～3学年, (教科・科目) リサーチ&レポート (総合的な学習の時間)

協働学習

(単元) リサーチ&レポート全体発表会

(本時のねらい)

「リサーチ&レポート」は本校独自の教科であり、生徒の探究心を高め、夢を追求する力を育てるために設定された教科である。生徒は、国語・社会・理科・保健体育の4教科に分かれ、自然や社会、文学や健康・スポーツ等について、一人ひとりが自分の興味・関心や問題意識に基づいて研究テーマを設定し、調査研究(リサーチ)と研究論文(レポート)の作成に挑戦している。この「リサーチ&レポート」の活動を通じて、科学的に調査研究し記録する能力や、論理的に考察しまとめる能力等を育成するとともに、中間報告会や研究発表会などの機会を設け、プレゼンテーションなどの効果的な表現方法についても身につけていく。また、本年度より導入された一人一台端末を用い、調査研究や研究論文の作成、プレゼンテーション用のスライドの作成もすべて一人一台端末を用いて行う。さらに、この全体発表では、3年生の発表を下級生が見ることによって、本校の教育目標である「ゆるぎない自信を持って未来を拓くたくましい人材の育成～心・力・夢を育てる中高一貫教育～」をめざし、自分だけでなく、仲間や先輩、後輩などとの豊かな協力関係を築くことができるよう、コミュニケーション能力を高め、主体的に課題に取り組む態度を身につけさせたい。

(ICT活用方法)

従来はプロジェクターを利用してホールで発表していたが、コロナ禍で自宅でのリモート授業となり、オンラインミーティングアプリを用いて自宅からプレゼンテーションソフトのスライドを画面共有で発表させ、観客も自宅からオンラインミーティングアプリで参加して発表を聞く。効果的にプレゼンテーションを行う力、発表を聞いて感想を伝えたり、質問したりすることができる態度を身につけさせたい。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 3分		・リサーチ&レポートについて教頭から下級生に説明する。	・各自の一人一台端末を、自宅からオンラインミーティングアプリを使ってリモート接続させる。
展開 40分	・プレゼンテーションソフトのスライドをオンラインミーティングアプリの画面共有を使って、自宅から発表を行	第1部 ・発表者の持ち時間は8分。5人に発表させる。 ・質疑応答は司会者が行う。	・プレゼンテーションソフトのスライドをオンラインミーティングアプリの画面共有を使って、自宅から発表を行う。

15分	う。	・休憩	
40分		第2部	
まとめ 2分		・講評を述べる。	

(授業の様子)



司会者



画面共有での発表の様子

各教室の電子黒板で参加する
予定であった

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

これまでは発表をする代表の生徒のみがプレゼンテーションソフトのスライドを使ったプレゼンテーションを行っていた。一人一台端末の導入によって、全員が冊子用原稿を文書作成ソフト文書で教育プラットフォームに提出し、各教科ごとにプレゼンテーションソフトのスライドを使った発表を行った。その中から代表を選び、8人が学年での発表を体育館で行い、10人が自宅から全校生徒に向けてのリモート発表を行った。

例年、市民ホールを借りて舞台上で発表を行ってきたが、コロナ禍を受けて学校の各教室の電子黒板へ配信しての発表の予定となっていた。しかし、当日が急遽休校となり、発表者も観客も各自の自宅で一人一台端末を利用してのリモート発表会となった。事前に万が一に備えて練習しておいたため、発表者はUSB接続のヘッドセットを使って画面共有をリレーしながら落ち着いて発表を行うことができた。

課題としては、観客からの質問を受けることができず、あらかじめ用意した質問を司会者が読み上げる形での質疑応答になってしまったのは残念であった。初めての試みであり、発表者の方は事前に練習していたが、質問をする観客の方へは使い方などの指導が及んでおらず、時間制限もあって今回は断念した。もう一度全自宅への同様なリモート発表会をする機会があれば、チャット機能を利用するなどして双方向な質疑応答を行いたい。もちろん、再びその日（休校でのリモート授業）が来ないことを願うものである。